

## 別記様式（第5条関係）

## 会 議 録

会議の名称		令和7年度第1回福津市防災会議
開催日時		令和8年3月27日（金）午前9時30分～
開催場所		福津市役所本館2階 大会議室
委員名		出席委員 福井崇郎、佐藤元気、北野真市、石津輝昭、中村一枝、井手和子、池浦英明、岡本穎和、野中博文、岡田和憲、本多研介、吉崎和哉、谷口由貴、花田積、平田健三、大庭武志、高山康和、長野健二、宮原栄介、中村雅美、薄俊哉、水上雅博、幣旗伸一郎、坪根昌弘、石橋忠信 欠席委員 宮城讓、香田知樹、岡将平、中村智弘 代理出席 碓将治、前田幸輝
所管課職員職氏名		防災安全課 課長 樫村清滋 安心安全まちづくり係長 高山大樹 安心安全まちづくり係員 追鳥翼 安心安全まちづくり係員 庄山幸平
会 議	議 題 （内 容）	説明1 福津市防災会議について 議題1 令和8年3月地域防災計画の修正（案）について 報告1 令和7年度福津市一斉防災訓練について 報告2 令和7年8月豪雨災害を踏まえた課題と今後の対応について その他1 福津市国土強靱化地域計画について その他2 福岡県消防防災指導課より連絡
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	0名
	資料の名称	・次第・資料1・資料2・資料3・資料4・資料5・補助金リーフレット・個別避難計画の作成促進・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害の対応と課題について・福津市国土強靱化地域計画令和8年度事業計画一覧表
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法

その他の必要事項	委員以外の出席者 経営戦略課 課長 向井泰博
審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)	
<p>○会長あいさつ</p> <p>○委員自己紹介</p> <p>○説明</p> <p>1 福津市防災会議について 事務局から資料1・2に基づき説明 質疑なし</p> <p>○議題</p> <p>1 令和8年3月地域防災計画の修正(案)について 事務局から資料3・4に基づき説明</p> <p>委員：国土交通省より通知のあった新たな警戒レベルでは、どのレベルになれば災害対策本部を設置するのか。具体的に決まっているのであればご教示願いたい。</p> <p>事務局：現状では、大雨等の警報が出れば災害対策本部を立ち上げている。今後の新たな警戒レベルで対応していく中では、防災計画上に明記がされているので、それに従い設置を行っていく。</p> <p>委員：災害が起こった時点ではすでに設置がされているという認識で良いのか。</p> <p>事務局：その認識で問題ない。</p> <p>委員：昨年大雨では福津市で2名がお亡くなりになった。人命保護は最優先とするものなので。今回の教訓や反省点を今後に生かすようお願い申し上げる。 また、資料4の災害発生状況の追加について、一覧表で書かれているが、これは分かりにくいのではないかと思う。 地図上に情報を落とし込み、視覚に訴える作りをするを提案する。</p> <p>委員：弊社の名前が今年度より変更となったため、修正頂きたい。 事務局：対応する。</p> <p>その後、質疑なし。</p>	

○報告

1 令和7年度福津市一斉防災訓練について

事務局から資料5に基づき説明

質疑なし。

2 令和7年8月豪雨災害を踏まえた課題と今後の対応について

事務局から資料「令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害の対応と課題について」に基づき説明

委員：資料6 1ページについて、備蓄品は避難所に備え付けられているという認識で良いのか？

事務局：以前より集中備蓄の体制を取っており、備蓄品の多くは旧津屋崎庁舎にあるが、近年では分散備蓄も重要であると考えている。

各避難所にも少量保管をしているが、きちんと分散しているとは言えない。

1回分の台風に対応できるだけの備蓄品を、設置可能な避難所で保管している状況である。

委員：備蓄倉庫はそれぞれに設けられているのか？

事務局：備蓄倉庫というよりは、各公共施設の倉庫や空きスペースに保管させていただいている。

委員：様々な対策を練られていることは伝わった。

しかし、実際に避難された方が数日間は過ごせるだけの量の食料品や備蓄品を避難所に備えておく必要はあるのではないかとと思う。

福間郷づくりセンターの備蓄倉庫には水や食料の備蓄は一切ない。

今後災害が発生し対応する中で、現状のままでは問題があるように思う。

備蓄品に関する今後の計画をご教示いただきたい。

事務局：この場では回答できるだけの資料を持ち合わせていないため、ご意見として受け取らせていただきたい。

委員：一極集中では、遠い避難所の場合すぐに対応できないことが多いと思う。

避難所として指定された施設には少なくとも備蓄倉庫が必要であると思う。

検討をお願いしたい。

その後、質疑なし。

○その他

1 福津市国土強靱化地域計画について

経営戦略課 向井課長から資料「福津市国土強靱化地域計画令和8年度事業計画一覧表」に基づき説明

委員：資料4ページのハザードマップの作製・更新について、これは毎年見直しがされているのか？

向井課長：こちらに記載されているものについては、防災安全課が次年度より初めて取り組むものになる。

各地域に落とし込んでいくものについては令和8年度より、新たに始める取り組みとなる。

まずは試験的に、令和8年度は宮司地区の作成を行い、可能であれば令和9年度以降に他地域へ広げていきたいと考えている。

委員：ハザードマップの作成の際は、各自治会長への協力を依頼することを提案する。

自治会長はその地域の危険な場所を把握しているので、ハザードマップの作成が容易になると思う。

ぜひ協力を依頼して本来のハザードマップを作成していただければと思う。

向井課長：事業内容に記載のあるとおり、地域の方とのグループワークやまち歩きを通じて地域を巻き込みながら、地域ごとの防災マップの完成につなげる所存である。

委員：ぜひ実態に即したハザードマップの作成をお願いしたい。

事務局：補足をすると、次年度からは地区ごとの防災マップの作成を行う。福津市全体のハザードマップについては、約5年ごとの福岡県の洪水浸水区域等の見直しがあった場合はその都度更新を行う予定である。

その後、質疑なし。

2 福岡県消防防災指導課より連絡

中村委員から資料「補助金リーフレット」に基づき説明

質疑なし

3 林野火災注意報・警報について

北野委員から林野火災注意報・警報について説明

質疑なし